

11級の検定基準(抄)

検定内容および技能の概要

検定の内容	技能の概要	目安となる学年
個数や順番，整数の意味と表し方，整数のたし算・ひき算，長さ・広さ・水の量などの比較，時計の見方，身の回りにあるものの形とその構成，前後・左右などの位置の理解，個数を表す簡単なグラフ など	身近な生活に役立つ基礎的な算数技能 1. 画用紙などを合わせた枚数や残りの枚数を計算して求めることができる。 2. 鉛筆などの長さを，他の基準となるものを用いて比較できる。 3. 缶やボールなど身の回りにあるものの形の特徴をとらえて，分けることができる。	小学校 1年 程度

11級の検定内容は以下のような構造になっています。

小学校1年程度	特有 問題
90%	10%

※割合はおおよその目安です。

※検定内容の10%にあたる問題は，実用数学技能検定特有の問題です。